

運用の見直しについて

1. 練習について※まずは5月6日までのトライアルです。

- (1) 練習場所・曜日の集約化および学年別で練習を行う
- 月曜日：1～3年生@中原小 17:30～19:00※雨天時には体育館使用。
火曜日：4～6年生@大谷小 17:30～19:00
水曜日：休み
木曜日：全学年@中原小 17:30～19:30
金曜日：4～6年生@大谷小 17:30～19:00
土曜日：原則、行事がある場合を除き午前に練習を行う。9:30～12:00
開催場所は適宜決定（あやめ or 中原）。
- (2) 練習内容
- 月・木曜日：低学年の定着化、基礎技術の徹底、体の向き等のスキルアップ
火・金曜日：試合形式での練習

2. チームの方向性

- (1) チームの育成方針⇒戸畑FC選手に必要な8カ条とTIPS
(2) チームのスタイル⇒戸畑FC選手に必要な8カ条とTIPSを基に選手にあったスタイル
(3) チームの目標⇒県大会出場を目指し県大会常連チームへ育成する。

3. 後援会（保護者）の運用と子供達への接し方について

- (1) 当番の廃止
- ①当番があるが故に入団しない場合が多々ある。
②保護者の負担軽減化
③親の部活動化をなくす。
- (2) 自立した子供達を育む
- ①荷物運搬・テント設営等は出来るだけ子供達にさせる（慣れるまで忍耐が必要です。）
②待機場所の大人と子供の区分化（子度とは離れ、水分・食事の世話はせず、自分でさせる）
③荷物も少し足りないくらいが丁度良い。
④整理整頓を徹底させよう。（鞆の置き方・靴の並べ方等）
⑤挨拶を徹底しよう。（必ず大人も声を掛け真似するまで粘りましょう。）
- (3) 世話をするなら他人の子、自分の子供は信じて見守る。
(4) 逞しい子供へ成長させよう。
- ①好き嫌いはさせず何でも食べる（食べることは一つの才能：東福岡 志波総監督）
②早寝・早起きの習慣化。

4. その他

- (1) 集合時間等の周知および統一化（トレマッチの導入）
(2) 会計の一部統一化・参加大会・イベントの統一および精査等々。

戸畑FC選手に必要な8カ条とTIPS

1. 感謝の心～あいさつと道具を綺麗に使用する～

監督、コーチだけでなく、グラウンドで会う人みんなに元気よくあいさつをする！

※おはようございます。こんにちは。ありがとうございます。など

2. 率先して行動することと整理整頓

チームみんなで使う、グラウンドの準備や後かたづけを自分からすすんでやる。シューズ・ボール・マーカー・ピブス等の道具を大切に使うこと。(良き人間は良き選手である)

3. 仲間へのリスペクト(尊敬する)

戸畑FCのみんなが、お互いに相手のことを思いやる心をもつ。チームプレーをけっして忘れない。試合にでる人、出られない人も心をひとつに！(スタメンであれレギュラーであれ大切な団員です。)

4. 集中力

練習に集中すること。試合に集中すること。1点を取り、1点を守りきる力・精神を身に着ける。

5. がんばる心

苦手な練習(リフティングやヘディングなど)も諦めずに、できるまでチャレンジ！

6. 予測する力と判断力

相手の動きやボールの動きなどを前もって考え、自分で判断すること。

監督・コーチの言うことだけ聞いても成長しません。君たちはロボットではなく人間です。

そうすれば、慌てず焦らずにプレー出来ます。

(FW/フォワード) ドリブルか、パスか？もしくはシュートなのか？瞬間できめる。

(MF/ミッドフィルダー) 相手を見て、右にパスを出すのか？左に出すのか？瞬間できめる。

(DF/ディフェンダー) 相手FWをマークするか？オーバーラップして攻めるのか？瞬間できめる。

(GK/ゴールキーパー) シュートをキャッチするのか？パンチングして防ぐのか？瞬間できめる。

7. 個人技(参考)

(FW/フォワード) 一人でドリブルして突破して、シュートまたはセンターリングをする。

(MF/ミッドフィルダー) 相手のウラをついてスルーパスを出したり、シュートをねらったりする。

(DF/ディフェンダー) 相手からのパスをふせぐ(パスカット)、1対1の守備でボールをうばう。

(GK/ゴールキーパー) シュートやセンターリングのボールをキャッチしてゴールを奪われない。

8. 運

チームが試合に勝つための少しだけの運は、日々努力するチームでなければありません。

練習を120%がんだり、試合で100%の力が出せるように！サッカーの神様は見ている。

TIPS (チップス)

オランダの強豪チーム『アヤックス』が採用している優秀選手を見極める基準です。

※アヤックスからの有名選手：イブラヒモビッチ、セードルフ、ヨハン・クライフなどなど

T=テクニック：主にワンタッチプレーやトラップ技術

トリッキーなプレイや難しい技が出来ることをテクニックとは呼ばず、基礎的なボールタッチの上手さ、ドリブル・シュートといった基本的な技術のことを指す。

I=インテリジェンス：試合の流れを読む洞察力

サッカーにおけるインテリジェンスは、監督の戦術を理解できること、そして試合の流れを読み、実戦の中で戦術に沿った動きを、自分の頭で考えることができることを指す。サッカーの場合、野球と違い試合中は逐一監督の指示を受ける訳にはいかないため、自分で考える能力が重要になる。

P=パーソナリティ：人格、思いやり

どれだけ足が速く、技術に長けていても、それだけでは選手としてはNGである。

サッカーはチームスポーツであり、優れた人格であることがチームのために貢献できる性格である重要な要素になる。

S=スピード「100mを何秒で走るか」ではなく、走り出しのタイミング

サッカーに置けるスピードは、ただどれだけ足が速いかということもアドバンテージにはなりますが、長時間のゲーム中をずっと走っている訳にはいかないので、大事なのは、動きだしの速さや走り出しのタイミングがうまいかどうか、ということになる。

(その他)

『3つのB』

Brain: ブレイン(頭脳) サッカーは脳を使うスポーツである。

Body Balance: ボディーバランス(体) 倒れてファウルを貰うな、踏ん張りシュートを決めろ。

Ball Control: ボールコントロール(技術) 試合中にコントロール出来る力を身に着けよう。